

発行
北海道ポーランド文化協会

〒060-0018
札幌市中央区北 18 条
西 15 丁目 3-19 安藤方
電話・FAX 011-556-8834
hokkaidopolandca@gmail.com

POLE

第 92 号 2017.9.1
北海道ポーランド文化協会 会誌

北海道ポーランド文化協会
東京事務所

〒107-0052
東京都港区赤坂9-6-29-309
音響計画(株) 霜田気付
電話 03-6804-1058
FAX 03-6804-6058



第 31 回定例総会 & 創立 30 周年祝賀会 にお越し下さい!

会場：ニューオオタニイン札幌（北 2 西 1、電話：011-222-1111）

日時：2017 年 10 月 21 日（土）

11:00～総会、12:00～14:00 祝賀会



本協会は、1987 年 10 月に設立され、音楽、文学、映画、演劇、歴史、科学技術などの文化交流を通じて、日本とポーランドの絆を強める活動を続けて参りました。

30 年の節目の今年、その活動のあゆみを振り返るとともに、ポーランドと日本の音楽パフォーマンスを組み込んだ賑やかで楽しい祝賀会を計画しています。

会員のみならず、お友達・ご関係者をお誘い合わせてご参加ください。

- ✓ 参加資格は、特にありません。会員、旧会員、ポーランド人、ポ文協に関心のある方々、どなたでもご参加ください。
- ✓ 会費：会員・一般 5,000 円、学生 2,500 円
非会員のポーランド人とその家族は 1,000 円（中学生以下の子供は無料）
- ✓ 祝賀会の流れ：会長・来賓挨拶、乾杯、ピアノ演奏、祝宴（ポーランドと日本の音楽パフォーマンス）
- ✓ お問い合わせは左上の住所/Tel・FAX/e-mail(安藤あて)にお願いします。
- ✓ 参加申し込みは、同封の返信用ハガキでお早めに（最終：10 月 14 日（土）までに）お願いします。

※ 音楽パフォーマンスについて：日本の音楽として「午後のポエジア」に続きアイヌ民族の口琴の演奏を行います。口琴は日本では平安時代の金属口琴が出土しており、江戸時代にも流行しましたが、本州では途絶えました。北海道では、北方経由で金属口琴と竹口琴ムックリがアイヌ民族に伝わり、現在に至っています。

解説と演奏は、第一人者の阿部和厚(かずひろ)北大名誉教授にお願いします。



(左) ポーランドの皆さんによる国歌
「ドンプロフスキのマズルカ」斉唱
(記念誌出版祝賀会、2015.10.17)

(右) ムックリ演奏：川上恵
(午後のポエジア 7、2017.5.27)





創立 30 周年祝賀会

(ニューオータニイン札幌、2017年10月21日)

村田 譲

今年で創立 30 周年ということで日本、ポーランドともに家族連れを含めて 60 名と多数の参加があった。会長の安藤厚氏の挨拶、ポーランド大使、広報文化センター長の祝辞の代読。坂田朋優氏によるショパン「別れの曲」などピアノ演奏は実にタッチが軽やか。

東京事務所の霜田英磨所長の乾杯の後には、いままでの協会の出来事を当時の参加者の説明入りでスライド上映した。そして音楽パフォーマンスの時間。登場したのは学生のコワルスカ・リアナ嬢によるサクソ演奏で曲目は「大きな古時計」、たどたどしさはあるものの更にはピアノでも演奏する。音楽がすごく好きな感じが楽しい。続いて数井バルバラ嬢と三人の男性のコーラスになると、歌の途中でポーランドの方はほとんど舞台に昇ったのではないかと、まさに大合唱となる。ついでにポーランド国歌『ドンブロフスキのマズルカ』、将軍の個人名がタイトルについて歌詞にも登場する勇ましさに驚く。



その後、阿部和厚北大名誉教授のムックリ演奏と解説が始まる。マウスハープ(口琴)とも呼ばれるが、由来は今一つはっきりしないとのこと。すでにモンゴルなどでは紀元前からあったようで、シルクロードを通し

てヨーロッパ各地に伝わりイギリス、ドイツ、ハンガリーなどに名前が残っている。日本では 1,000 年前の奈良時代の神社から出土しており、これは中国から伝わったと考えられる。また、江戸時代に流行しそのときはポルトガル経由であったらしい。北海道には金属製と木製とがあるが、金属製のものは、当時は製造技術がなく輸入品である。サハリン、シベリアなど中央アジアにそっくりのものがあるという。なおニューギニアのムックリは別系統のものとのことだ。世界的には金属製が主流となり、またヨーロッパはリズム重視であるとか。このムックリの演奏方法に関して、ムックリは弦が一本であることから、すべて同じ音になるので口蓋を使い、倍音を利用することで変化を作り出している。当日は「風の音」などを披露した。

最後には、新会員となった菅原みえ子氏が自作詩「さかさ」を、いささかひねくれ者でありますとの自己紹介のように朗読する。長屋のり子氏は自作の「盲いたシンキンチョウの絶唱」を時間の許す範囲で会場に響かせた。終わりは副会長の霜田千代鷹氏による三本締めであった。



(むらた・じょう、「空への軌跡」吟遊記 2017/10/29 より)



写真(上) 長屋のり子、村田譲(中左) 阿部和厚(中右) 霜田千代鷹、菅原みえ子(下左:2列目中央) マルタン・グレゴリウス、安藤厚、遠藤郁子のみなさん(下右)『ドンブロフスキのマズルカ』



ポーランド広報文化センター「忘年会」

2017年12月5日(火)大使館ホールで「忘年会」が催され、来年1月に離任される**ブワシチャック**所長の**退任**ご挨拶がありました。

本会からは霜田が参加しご厚誼に深い

感謝を申し上げ、所長から「これまでの親身な交流にとっても感謝しています。帰国後もおつきあいの機会があれば幸いです」とのお話がありました。(霜田英磨) **ブワシチャック**所長と栗原美穂さん(⇒)



北海道ポーランド文化協会

創立30周年祝賀会 次第

日時 20017年10月21日(土) 11:00～ 総会
12:00～14:00 祝賀会
会場 ニューオータニイン札幌 2階 北斗の間

司会 新井 藤子、小笠原 正明(副会長)、ラファウ・ジェブカ

1. 開会
2. 会長挨拶 安藤 厚
3. 祝辞(代読) ポーランド大使、広報文化センター所長
4. ピアノ演奏 坂田 朋優
5. 乾杯 霜田 英麿(東京事務所所長)
6. 祝宴・歓談
7. 歌唱ほか
スライドショー：協会の30年、ポーランド人による
音楽パフォーマンス：リリアナ・コヴァルスカ/バルバラ
数井ほか、アイヌのムックリについて(解説と演奏)
阿部 和厚 北海道大学名誉教授
8. 終わりの挨拶 霜田 千代麿(副会長)
9. 閉会
〈記念撮影〉

ご出席者 ご芳名

(日本人 30 人)

阿部 和厚
新井 藤子
安藤 厚
安藤 むつみ
薄井 豊美
大塚 広介
小笠原 正明
片倉 昭良
熊谷 敬子
小林 暁子
小林 浩子
斎田 道子
坂田 朋優
佐々木 正
佐々木 保子
柴田 敬子
渋谷 優
霜田 千代麿
霜田 英麿(東京)
菅原 三栄子
鷺見 健
神 稚子
田中・遠藤 郁子
富山 信夫
長屋 のり子
花崎 皋平
古山 雅一
松山 敏
村田 譲
山本 伸一

(ポーランド人&家族 29 人)

ガイェヴスキ, ダニエル
数井 バルバラ
数井 手雄(テオ)
数井 朗
クラク, バルトツシュ
グレゴリウス, マルタン(キタラ専属オルガニスト)
ゲッツ, キンガ(室蘭)
ゲッツ, 厚沙 洋(室蘭)
コワルスカ, エバ
コワルスカ, リリアナ
コワルスキ, クリストフ
ジェプカ, ラファウ
ジェプカ, エディタ
ジェプカ, ミコワイ
島田 ニコラ
ジムニー, アレクサンドラ
シャレック, レナタ
河村 裕
河村 恵李アンナ
河村 明希カリナ
ニュウヴァジニ, ヤグナ(北見)
ノヴァコフスキ, カロル(北見)
バビェノ, マテウツシュ
マズル, ミハウ
山口 正光(セイコウ)ピオトル
ユングスター, リシアード
ユングスター, シアラヤ
藪 二衣奈
藪 一仁

Celebration of 30th Anniversary

of the Hokkaido-Poland Cultural Association

October 21, 2017 (Sat.) 12:00~14:00

New Otani Inn Sapporo, 2nd floor, “Hokuto”

Toastmasters:

Arai Fujiko, Ogasawara Masaaki, Rafał Rzepka

- 1 . Opening declaration
- 2 . Message from the President, Ando Atsushi
- 3 . Letters from the Ambassador of RP and
Director of Polish Cultural Institute in Tokyo
- 4 . Piano performance: Sakata Tomomasa
- 5 . Toast: Shimoda Hidemaro
- 6 . Feast
- 7 . Slideshow: 30 years of the Association;
Music performance by Polish people: Liliana
Kowalska, Barbara Kazui and others;
About Ainu Mukuri: commentary and
performance, Abe Kazuhiro, professor emeritus,
Hokkaido University
- 8 . Closing remarks: Shimoda Chiyomaro

〈Photo session〉

List of attendees

(30 Japanese people)

Abe Kazuhiro
Ando Atsushi
Ando Mutsumi
Arai Fujiko
Furuyama Masaichi
Hanasaki Kohei
Jin Wakako
Katakura Akiyoshi
Kobayashi Akiko
Kobayashi Hiroko
Kumagai Keiko
Matsuyama Satoshi
Murata Jo
Nagaya Noriko
Ogasawara Masaaki
Otsuka Kosuke
Saida Michiko
Sakata Tomomasa
Sasaki Tadashi
Sasaki Yasuko
Shibata Keiko
Shibuya Masaru
Shimoda Chiyomaro
Shimoda Hidemaro (Tokyo)
Sugawara Mieko
Sumi Ken
Tanaka-Endo Ikuko
Tomiyama Nobuo
Usui Toyomi
Yamamoto Shin-ichi

(29 persons from Polish families)

Babieno, Mateusz
Gajewski, Daniel
Goetz, Asher Hiroshi (Murooran)
Goetz, Kinga (Murooran)
Gregorius, Martin, Organist,
Sapporo Concert Hall Kitara
Jaworowicz-Zimny, Aleksandra
Juengster, Ryszard
Juengster, Sharayah
Kawamura Aki-Karina
Kawamura Eri-Anna
Kawamura Hiroshi
Kazui Akira
Kazui Barbara
Kazui Teo
Klak, Bartosz
Kowalska, Ewa
Kowalska, Liliana
Kowalski, Krzysztof
Mazur, Michał
Nieuważny, Jagna (Kitami)
Nowakowski, Karol (Kitami)
Rzepka, Edyta
Rzepka, Mikołaj
Rzepka, Rafał
Shimada Nikola
Szarek, Renata
Yabu Kazuhito
Yabu Nina
Yamaguchi Seiko Piotr



*Ambassador
of the Republic of Poland*

Tokyo, September 26th 2017

AMB. TOK. 110. 46. 2017

**Mr. Atsushi Ando
President
Hokkaido-Poland Cultural Association**

I would like to thank you very much for your kind invitation to the celebration of 30th Anniversary of the Hokkaido-Poland Cultural Association. Please accept my most cordial congratulations and best wishes on this occasion.

Regretfully, I will not be able to attend this solemn and meaningful event due to earlier planned commitments. I hope very much that the co-operation kindly extended to us by the Hokkaido-Poland Cultural Association in the past can happily continue to the benefit of the Polish-Japanese cultural relations in the future.

Please accept my appreciation for your great work and I will do my best to meet the members of your Association and visit your beautiful island in the near future. In wishing you every success in your activities, I avail myself of this opportunity to assure you of my continuous support and consideration.

Jacek Izydorczyk

2017年9月26日、東京

北海道ポーランド文化協会
会長 安藤厚 殿

北海道ポーランド文化協会創立 30 周年のお祝いにお招きいただきまことにありがとうございます。この機会に心よりお祝いを申し上げます。

残念ながら、先約がありますため、この重要な記念の行事に参加ができません。ポーランド・日本の文化交流のため、これまで貴会より賜りましたご協力が今後もますます続きますよう強く願っております。

みなさまのご貢献に感謝申し上げますとともに、近い将来に美しい北海道を訪れ、協会のみなさまとお目にかかる機会をつくるべく最大の努力をいたします。みなさまの活動のご成功を祈るとともに、この機会を利用して、これからも配慮とご支援を申し上げますことをお約束させていただきます。

ポーランド共和国大使
ヤツェク・イズィドルチク

IP.TOKI.110.1.2017

Tokio, 6 października 2017 r.

Pan Atsushi Ando
Przewodniczący Towarzystwa Miłośników
Kultury Polskiej na Hokkaido

Szanowny Panie Przewodniczący,

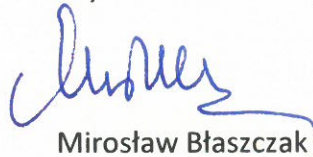
W imieniu swoim oraz Instytutu Polskiego w Tokio przekazuję na Pana ręce serdeczne gratulacje i wyrazy uznania z okazji jubileuszu 30-lecia działalności Towarzystwa Miłośników Kultury Polskiej na Hokkaido.

Towarzystwo w ciągu tych wielu lat swojej aktywności znacząco przyczyniło się do promocji Polski i polskiej kultury na Hokkaido, zwłaszcza w takich dziedzinach jak: film, muzyka i sztuki wizualne. Instytut Polski w Tokio wysoko ceni współpracę z Towarzystwem przy realizacji już cyklicznych wydarzeń w Sapporo: Festiwalu Polskich Filmów w Sapporo, Popołudniowego Czytania Poezji, udziału polskich ekip rzeźbiarzy śnieżnych podczas Festiwalu Śniegu, Polskiego Namiotu podczas Juwenaliów Uniwersytetu Hokkaido oraz licznych imprez muzycznych.

Nasza placówka docenia wkład Towarzystwa w dziedzinie popularyzacji postaci i badań Bronisława Piłsudskiego nad ludem Ainu oraz pomoc Towarzystwa udzielaną polskim instytucjom w tym zakresie.

Życzę Towarzystwu kolejnych sukcesów w dalszej działalności na rzecz rozwoju kontaktów polsko-japońskich i umacniania przyjaźni między społeczeństwami obu krajów, i deklaruję w imieniu Instytutu Polskiego gotowość wspierania Waszych działań w tej sferze.

Z wyrazami szacunku,



Mirosław Błaszczak

Dyrektor Instytutu Polskiego w Tokio

IP.TOKI.110.1.2017

2017年10月6日 東京

北海道ポーランド文化協会

会長 安藤 厚 殿

拝啓

この度、北海道ポーランド文化協会が活動30周年を迎えられましたことを、ポーランド広報文化センターより心よりお祝い申し上げます。

長年にわたり、北海道においてポーランドのことや、映画、音楽、美術をはじめその文化を普及することに大きく貢献されました。その幅広い活動の中で、ポーランド映画祭 in 札幌や午後のポエジア、雪まつり期間中のポーランドの彫刻チーム参加、北海道大学学園祭におけるポーランドブースの出展や数々の音楽イベント等、既に毎年恒例となっているイベントに当センターもご協力ができますことは大変有り難く思っています。

また、ブロニスワフ・ピウスツキの調査及び同人物をアイヌと関連づけた研究における貴協会のご尽力にも心より感謝を申し上げます。

今後も日本とポーランドの関係の発展と、両国民の友情を益々深めていく中で貴協会のご清栄をお祈り申し上げます。また、その活動の中での当センターがご協力できることがあれば光栄に存じます。

敬具



ポーランド広報文化センター
所長 ミロスワフ・ブワシチャック